2022年度 秋 要望調査票
青年海外協力隊 / 海外協力隊 / 日系社会青年海外協力隊 / 日系社会海外協力隊

要請番号（JL61822B05）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	G182 小学校教育	20～45歳のみ	個別	交替 4代目	2年	・2023/3・2023/4・2024/1

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

国民教育省

2）配属機関名（日本語）

アンタニフツィ郡学区事務所

3）任地（ヴァキナンカラチャ県アンタニフツィ郡アンタニフツィ市） JICA事務所の所在地（アンタナナリボ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 3.0 時間）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は、国民教育省の出先機関で、ヴァキナンカラチャ県教育事務所(DREN)の傘下のもと、郡内の教育行政を統括する学区事務所(CISCO)である。総務系、インフラ管理、授業計画、研修等の9部署があり、郡内24の地区に教育事務所(ZAP)を設置し、小学校314校、中学校55校、高校5校を管轄している。年間予算は約54万円。同県は、JICA技術協力プロジェクト「みんなの学校:住民参加による教育開発プロジェクト」の対象県となっている。同配属先では、現在3代目のJICA海外協力隊員(体育隊員)が活動中である。

【要請概要】

1）要請理由・背景

国民教育省は教育分野の開発計画(PSE 2018-2022)において、アクセスの向上、教育の質の改善、ガバナンス強化を柱に政策を進めており、就学率は改善傾向にあるものの都市部と農村部の格差が大きく、初等教育の修了率は約6割と課題は多い。また、コミュニティが雇用する、教員養成課程を経ていない無資格のコミュニティ教員(FRAM教員)が6割以上を占めており、教員の質も大きな課題の一つである。前任者(職種:体育)は、幼稚園から高校まで巡回し、体育の授業の質向上や現地のニーズが高い日本文化の紹介や日本語指導も行っている。今後も活動の中心は体育としつつも、学校現場のニーズに合わせた幅広い活動を行う隊員が求められており、職種を小学校教育に変更の上、本要請に至った。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

現地の教育施設を公共交通機関や自転車を使って巡回し、自身の得意な分野を活かしながら、以下に挙げるような活動を行う。
1.現地教員と協力して、小中学校で体育等の体を動かすアクティビティの実施を支援する。
2.小学校において、算数、図工、理科等の教科の指導支援を実施する。
3.衛生や栄養など、学校保健に関する啓発活動を実施する。
4.学校現場のニーズに合わせ、日本文化紹介(日本語、折り紙、歌など)を通した異文化交流活動を実施する。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

配属先の空いている机・椅子。過去の隊員が作成した、算数・手洗い・栄養啓発等の教材も利用可。
学校では、黒板とチョークは使用可能だが、その他の教材・教具は、任地にあるものを工夫して活用する。

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:学区事務所長:40代男性
指導主事、各課の職員、秘書等の常勤職員(10-15名程度)

活動対象者:対象となる各学校長、教員、児童(1クラス15～60人超)

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
マダガスカル語	マダガスカル語	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（小学校教諭）　[学歴]：（　　）　備考：

[性別]：（　　）　備考：　[経験]：（指導経験）2年以上　備考：

[参考情報]：

・スポーツ経験(サッカー、バスケ等)があるとよい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）　気温：（1～30℃位）　[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）　[水道]：（不安定）

【特記事項】

・派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。
・アンタニフツィ郡保健局に派遣予定の看護師隊員を、2022年度春募集で選考中。
・2023年10月に当国大統領選が予定されており、2023-3次隊の出発時期は、遅れる可能性あり。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.